**若手シンポジウム研究発表要旨原稿作成見本**

発表番号

（発表番号は入力不要） 材料大学[院]　 ○関西太郎 材料大学[院]　 若手花子

**1　緒　　　言**

　これは，日本材料学会関西支部若手シンポジウム研究発表の要旨原稿フォーマットを示したものです．本フォーマットに従いＡ4用紙1～2ページで日本語で作成して下さい．なお，マイクロソフトワードで原稿を作成される場合は，この原稿作成見本をそのまま原稿にお使いになれば，マージンなどの設定は不要です．以下では，フォーマットの詳細を示します．

**2　原稿の執筆上の注意**

**2.1　原稿用紙**　原稿はA4白紙（297mm×210mm）をご用意の上，2ページ以内に作成して下さい．2ページを超える場合は受け付けられません．

**2.2　マージン**　A4用紙に，左右20mm，上部25mm，下部22mmのマージンを確保し,この枠内に原稿を作成して下さい．本文は2段組とし，コラム幅80mm，コラム間隔を10mmとして下さい．

* 1. **題名，著者名**　次の事項を記載して下さい．

**(1)　発表題名**(15ﾎﾟｲﾝﾄ)

**(2)　著者名**(11ﾎﾟｲﾝﾄ)

発表題名は中央揃えとしますが，題名の頭には発表番号を事務局でつけますので，左欄の端より25mm以上空けて下さい．また，著者名は，勤務先，氏名の順に，左欄の端より40mm以上空けて記載し，連名の場合は発表者に○印をつけて下さい．

**2.3　本文**本文は9ﾎﾟｲﾝﾄでご執筆下さい．1コラムの文字数は全角で25文字程度，行間隔は14ﾎﾟｲﾝﾄ程度として下さい．したがって，1コラムあたり51行，1ページあたり約2500字です．参考文献は1)，2)，3)のように番号をつけて本文の最後にまとめ，書き方は日本材料学会誌｢材料｣の原稿執筆上の規約に準じますが，関西支部若手シンポジウムの発表要旨の原稿の場合は，この見本のような簡略表記でも構いません．

**2.4　図表**図表を本文で引用する場合は，図(写真を含む)については，Fig.1，Fig.2のように，また表はTable1，Table2のように引用して下さい．なお，図表中の説明，キャプションは原則として英語とします．本作成見本のように用紙にそのまま貼り込める大きさに用意し，本文中の説明と離れない位置に貼り付けてください．図・表どうし，あるいは図・表と本文は1行以上間隔をあけるようにして下さい．

**3　原稿の送付**

原稿はワードファイルにて，ファイル名を発表者名として，必ず締切日(2022年11月25日(金)）までにファイル提出フォーム（https://form.jotform.com/223041070625039）よりご提出ください．ファイル提出フォームによる提出ができない場合は，メールアドレスwakate-kansai@office.jsms.jpまで添付にてご提出ください．締切日に遅れて到着した原稿は若手シンポジウム若手発表要旨集に掲載されませんのでご注意下さい．お問合せ先は次の通りです．

〒606-8301　京都市左京区吉田泉殿町1-101

　　日本材料学会関西支部

TEL:075-761-5324　FAX:075-761-5325 　　　　　 E-mail: wakate-kansai@office.jsms.jp

**参考文献**

1. 吉田太郎，材料あゆみ，材料，**53**，555（2004）．
2. H.Harada and T.Yoshida，Proc. M. Soc.，**A-123**，321(1999)．



Fig.1 Relationship between *da*/*dn* and Δ*K*.